

大分教育事務所訪問②-22 (計 95)

臼杵市立野津小学校に学ぶ2

学校経営から学ぶ

「のびあい、つながる、野津っこの育成」をスローガンに、学校をあげて「健康・安全・食に関わる資質・能力」と「言語活動」の育成を行っています。特に注目すべきは、重点目標である、健康、安全、食、言葉について15項目のあった取組指標の達成に向けて、1学期に組織的、計画的、協働的に取り組まれ、その成果と課題を明らかにしていました。そのことで、教職員だけでなく子ども達や保護者も達成感をもつことができ、2学期からは5項目に絞り込んで集中的に取り組まれています。また、「学校評価の4点セット」だけでなく、「学校マネジメント4つ観点」においても、それぞれ進行管理を行い、目標達成マネジメントと組織マネジメントの連動について改善を行っています。正に、成長する組織となっています。

今後は、学校で育成を目指す資質・能力である「健康・安全・食に関わる資質・能力」と「言語活動」について、本校として「定義」することで、最上位目標の共通理解をより図ってみたいかがでしょうか。目標の共有ができれば、具体的な取組は担当者や児童会にも任せることができ、当事者意識がより高まると思えました。また、そのような資質・能力について、保護者や地域の方とも熟議等を行うことで、より協働的な取組が行われると思えます。

授業から学ぶ

6年生理科では、ICTを使って全ての子ども達の考えを共有したり、具体物である「はさみ」や「せんぬき」について操作をすることで、課題を明確にっていました。また、2年生算数では、安心安全な教室の雰囲気から、子ども達が多様な考えをもつことができ、それぞれの言葉で説明することで、違いや共通点を見いだしていました。

また、指導案における「振り返り」は教師が願う具体的なゴールの姿を「こどもを主語」で表していました。今後は、互見授業等で「振り返り」の表記の在り方や「ねらい」との連動、評価規準との整合性等を協議することで授業改善が推進されると思えました。

The table is a grid with multiple columns and rows. It contains various symbols like circles and triangles, and handwritten text in Japanese. It appears to be a detailed record or checklist used in school management.



NO.420 2021年10月 臼杵市立野津小学校

板書の目的

これまで学んだこと、課題解決までの見通し、いろいろな考え。板書はみんなが思考するためのツール。



NO.422 2021年10月 臼杵市立野津小学校

良さの発見

自分の考えを発信する。みんなの考えと比較する。そこに、お互いの良さがみえてくる。



NO.421 2021年10月 臼杵市立野津小学校

意思表示

挙手をして自分の考えを発言する。黒板やノートを見ながら自分の考えをまとめる。どちらも大切なことである。



NO.423 2021年10月 臼杵市立野津小学校

説明力

根拠をもとに、端的に自分の考えを発表する。最初から上手くはないが、繰り返すことで自信もてる。